



みんな輝く！ 学校輝く！ ふるさと輝く！

「輝く！」

第6号



令和3年7月6日（火）発行

（中南小ホームページQRコードです。カラー版を掲載しています。）

人権週間をふりかえって

6月21日（月）から25日（金）までの一週間を「一学期人権週間」として設定し、「あったか言葉をたくさん使って笑顔が輝くようにしよう」というテーマを掲げて、各学級で「人権学習」「学級目標」「個人目標」「人権標語」「言われてうれしかった言葉募集」など、様々な取組を展開しました。

テーマは、学校教育スローガンの「みんな輝く！」「学校輝く！」「ふるさと輝く！」や児童会スローガンの「笑顔輝き、チャレンジする明るい中南っ子」につながるものです。

最終日に、体育館に全校児童が集まって「校内人権集会」を行いました。

各学級からの振り返りでは、めあての達成状況の発表がありました。ただ守れたとか守れなかったという反省でなく、「『あったか言葉』をたくさん使うとみんなが笑顔になれることがわかりました。」など人権意識の高まりが感じられました。

最後に、2年生の道徳の授業の様子を紹介しました。「わすれられないえがお」という題のお話でした。

場所は、満員のぎゅうぎゅう詰めのバスの中です。女の子は手すりを握って立って乗っていました。しばらくして、運転手さんが急ブレーキを踏んだので女の子は体がよろけて、隣に立っていたおばさんの足を踏んでしまったのです。女の子はすぐにあやまりたかったのですが、おばさんの顔を見るととても怖そうだなあやまることができないでいました。このまま黙っておこうかなという気持ちとあやまりたい気持ちが行ったり来たりしました。

その時、女の子の頭の中に浮かんだのは、お母さんがいつも言っていた「わざとじゃなくても、悪いことをしたらちゃんとあやまるのよ。」という言葉だったのです。女の子は、怖そうなおばさんに、勇気をふりしぼって、「ごめんなさい。」と言って少しだけ頭を下げたのです。

するとどうでしょう。おばさんの顔はみるみるほころんで素敵なお顔になっていきました。

その時のおばさんの笑顔と自分の心が、すー

っとした気持ちを、その女の子は30年たった今も忘れられないのだそうです。

このように、「あったか言葉」は、相手の心だけでなく自分の心も温かくしてくれるものです。しかし、「ありがとう」や「いいねえ」と違って、「ごめんなさい」は、時には使うのに勇気がいるときがあります。やはり、「怒られるかもしれない」という気持ちが先に立つのでしょう。兄弟げんかなどの時も、「だって、わざとじゃないし・・・」とか、「〇〇が先にしてきたんだから・・・」といったようなことが理由になることも多いのではないのでしょうか。

それでも、子供達には、「ごめんなさい」を使って、お友だちが笑顔になり自分もうれしくてスッキリした気持ちになった経験が少なからずあると思います。

これからも、正しいことと悪いことの判断をしっかりと、たとえわざとではなくても、悪いことをしたら「ごめんなさい」が素直に言える子供であってほしいと願っています。

そうすれば、「みんな輝く！」「学校輝く！」「ふるさと輝く！」になり、「『夢』いっぱいの学校」「『自信』いっぱいの学校」になっていきます。それに向かって「チャレンジ」していくのが「明るい中南っ子」です。というような話をして集会を終わりました。

アルミ缶回収にご協力を！

地域の方々へ、中南小PTAからのお願いです。150周年記念行事に係る資金集めのためのアルミ缶・空びん回収を、PTA奉仕作業として、下記のとおり実施します。何かとお手数をおかけしますが、ご協力いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いします。

記

- | | | |
|---|-----|-----------------------------------|
| 1 | 日時 | 令和3年8月7日（土）
朝8時まで |
| 2 | 場所 | 各地区の資源ゴミ回収所 |
| 3 | 回収物 | ビール瓶、一升瓶（茶色のみ）
アルミ缶（紙類は回収しません） |

＜めざす家庭・地域像＞

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！